

式 辞

新年明けましておめでとうございます。

平成30年の輝かしい新春を迎え、本日ここに多くのご来賓の皆様方、並びに消防関係者のご臨席を賜り、屋久島町消防出初式が盛大に挙行できますことは、誠に光栄であり厚くお礼を申し上げます。

また、平素より本町消防行政に格別のご指導とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

本日ご参集くださいました消防団員並びに職員の皆様には、崇高なる消防精神をもって、住民の生命、身体、財産を守るため、昼夜を分かたず献身的にご尽力いただいておりますことに、心から感謝の意を表す次第であります。

また、後ほど表彰を受けられます皆様には、心からお祝いを申し上げます。この度の受章は、永年消防活動にご尽力された功績の賜物であり、今後も引き続き、より一層のご精進をお願いするものであります。

また、ゆかり幼稚園幼年消防クラブの皆さんには、パレードへの参加と消防演技を披露いただきました。その何ともかわいらしい姿と錬成された技術は、私達見る者の心を魅了し、本式典に欠かせないものとなりました。

ゆかり幼稚園幼年消防クラブの皆さん、素晴らしい消防演技を毎年披露いただいておりますこと、また、日々多忙の中に子ども達へ指導をいただいている諸先生方のご努力に深く敬意を表します。

これからも、園の伝統として引き継いでいただくとともに、一人でも多くの子ども達が、本町の次代を担う消防職・団員になってくれることを強く願います。

さて、今日、災害や事故は複雑多様な傾向を益々強めています。火災をはじめ、台風、集中豪雨等の風水害は依然として後を絶たず、地球温暖化などの影響により災害の規模も大幅に拡大してきております。

昨年を振り返ってみますと、台風や前線の影響により九州北部をはじめとする全国各地で記録的な大雨となり、河川の氾濫や浸水害や土砂災害が発生し、甚大な被害に見舞われました。

本町においても、集中豪雨や記録的な長雨、大型台風の相次ぐ襲来など、我々の想像をはるかに上回る災害の連続でありました。

また、口永良部島新岳につきましても、11月に火山性地震が増加するなど、今なお

活発な火山活動が継続しており、予断を許さぬ状況が続いております。

このような、自然災害や火災が発生した場合に備え、危機管理体制の更なる充実を図ることが大切であることは言うまでもありません。

万が一の大規模災害発生時には、地域の皆様、そして消防団、消防職員、行政が一丸となって災害対応にあたると同時に、被害の及ばない遠方からの支援が重要であると考え、昨年11月に姉妹都市である熊本県菊陽町と、大規模災害発生時の物資提供や職員派遣などを規定した、『相互応援協定』を締結いたしました。

この協定の締結により、災害発生時の早期復旧・復興が期待されるとともに、両町の絆がさらに深まるものと確信しております。

年々、消防を取り巻く環境は複雑多様化する一方で、その必要性はますます高くなっております。ご参集の皆様には今後とも町民が安全で安心して暮らせる「屋久島町」の実現のために、より一層のご尽力をお願いするものであります。

結びに、今年一年、本町の無火災、無災害を心から念願するとともに、屋久島町の消防・防災関係各団体の益々の発展と、消防職・団員をはじめ、町民の皆様のご健康ご活躍をご祈念申し上げまして式辞といたします。

平成30年1月6日

屋久島町長 荒木 耕治